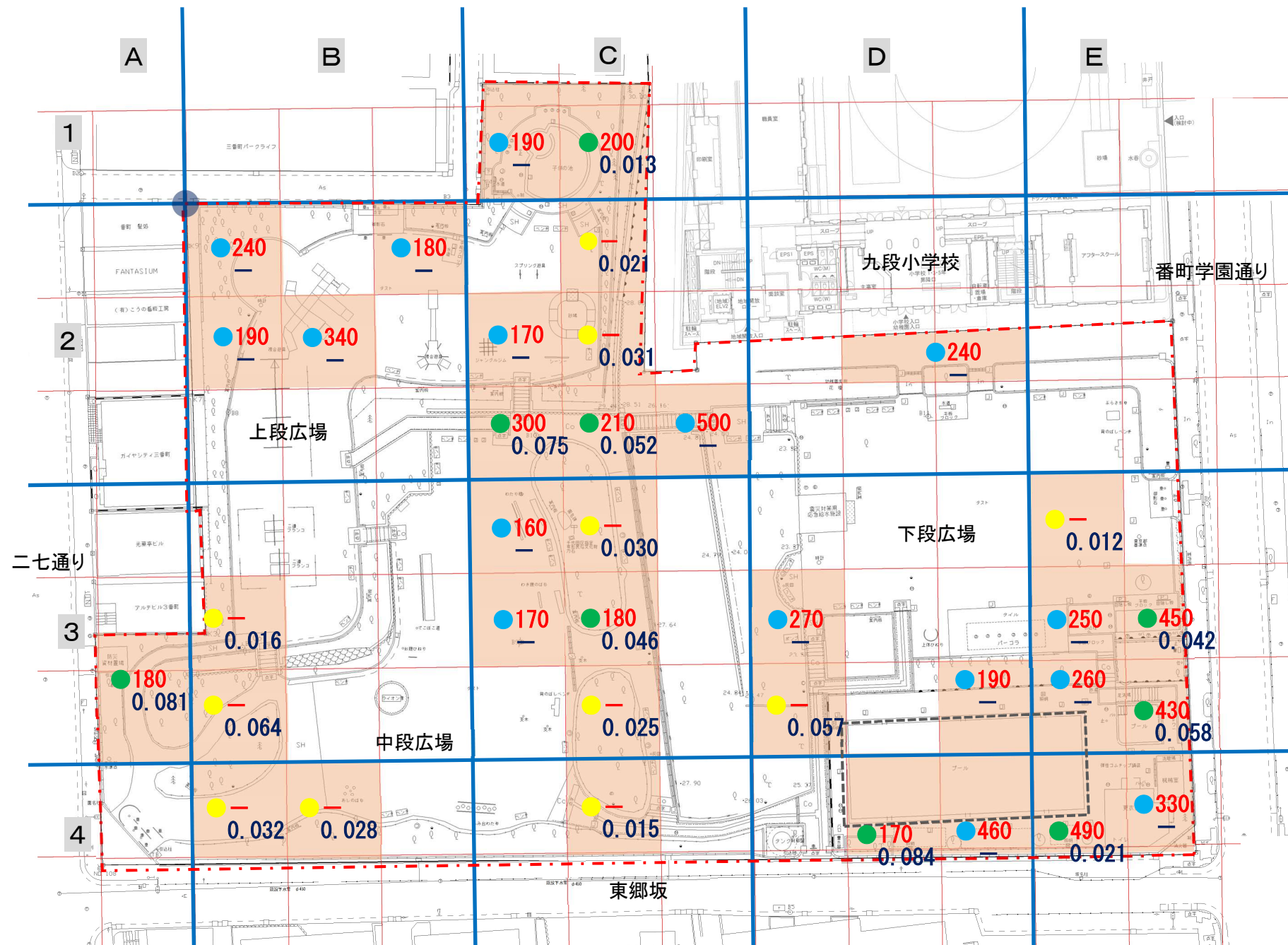


1 東郷元帥記念公園の土壌調査結果



凡 例

- 汚染基準値超過区域 / 表層部 含有量超過値 (基準値 150mg/kg)
- 溶出量超過値 (基準値 0.01mg/L)
- 含有量超過区域
- 溶出量超過区域
- 含有量・溶出量超過区域

■土壌調査結果 (表層部 深さ 0.5mまでの土壌)

東郷元帥記念公園では、平成 30 年 2 月より下段広場から改修工事を進めています。その際、公園区域内から「鉛及びその化合物」(以下、「鉛等」)について、土壌汚染対策法の基準値を上回っていることが確認されました。

このため、土壌汚染対策法に基づき、公園内 10m 格子 71 地点の表層部の土壌調査とその結果、基準値を超過した 36 地点の深度調査 (ボーリング調査) を行いました。

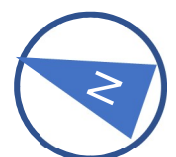
◆調査結果は、含有量基準値 (150mg/kg) 超過区域 16 地点、溶出量基準値 (0.01mg/L) 超過区域 11 地点、含有量・溶出量基準値超過区域 9 地点、計 36 地点でした。

【参考】

- 含有量調査は、採取した土壌 1 kg 中の「鉛等」の重量を測定します。「鉛等」の基準値は、150mg/kg です。この基準値は、子供 200mg、大人 100mg の土を毎日、70 年間摂取した時の健康被害のリスクです。
- 溶出量調査は、採取した土壌を水に溶かし、1 リットル中の「鉛等」の溶出量を測定します。「鉛等」の基準値は、0.01mg/リットルです。

0

30m



2 東郷元帥記念公園の土壌調査結果

■土壌調査結果（深度の検証）

表層部（0.5mまでの土壌）で含有量または溶出量の基準値を超過した 10m格子区域 36 地点での深さ方向のボーリング調査を行いました。

◆調査結果は、対策深度 0.6m以内は 17 地点、1.0～1.5m以内は 10 地点、2.0m以上は9地点となりました。最大の対策深度は、公園中央部で 5.0mでした。



土壌対策深度 (基準値以下となる深さ)

- 対策深度 0.6m
- 対策深度 1.0m
- 対策深度 1.5m
- 対策深度 2.0m
- 対策深度 2.5m
- 対策深度 3.0m
- 対策深度 3.5m
- 対策深度 5.0m
- 調査対象外

表層部土壌調査結果 (基準値超過区域)

- 含有量超過区域
- 含有量・溶出量超過区域
- 溶出量超過区域

0

30m



3 東郷元帥記念公園の一部開放について

■東郷元帥記念公園の一部開放

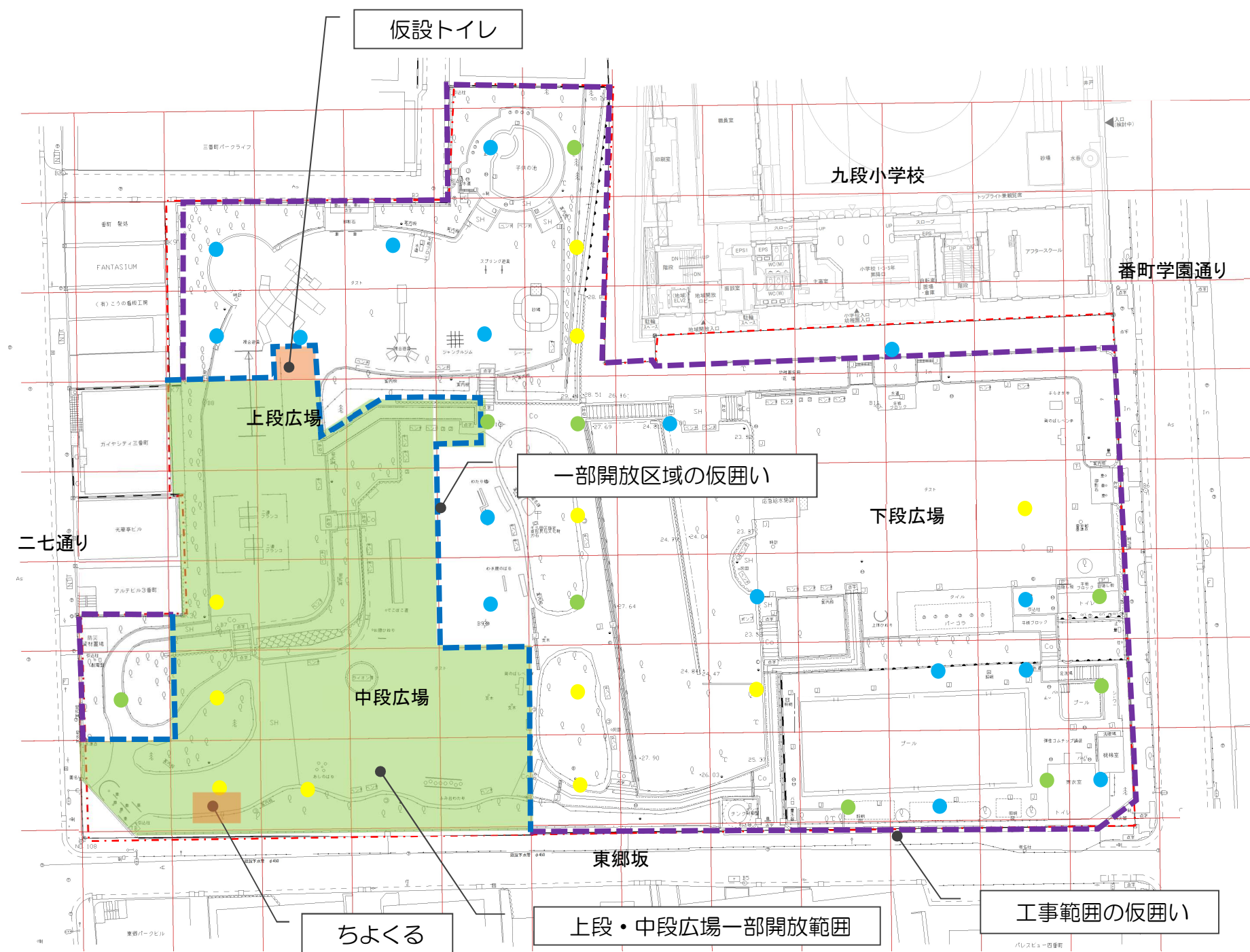
中段広場及び上段広場について、「鉛等」の含有量基準値超過区域を除き、最大限の開放を目指します。

「鉛等」の含有量基準値超過区域は、土壌の摂取の遮断が必要となりますので、仮囲いで閉鎖します。溶出量基準値超過区域は、積極的な対策は、行わないものとします。

仮設トイレ及びちよくるを一部開放区域内に設置します。

開放日：平成31年3月25日（月）正午予定

※溶出量の基準値超過については、周辺に飲料井戸がないこと、地下水位が対策深度より深いことから、法的な処置は必要ありません。



表層部土壌調査結果

- 含有量超過区域
- 溶出量超過区域
- 含有量・溶出量超過区域

0

30m

